

2-3-1項 S/Cベント (図-1参照)

操作 順序	操作内 容	確認事項	操作場所	確認
	S/Cベントは下記の4つの条件が成立したら実施する。 (1) CCSの復旧の見通しが無い。 (2) 格納容器圧力が853kPaに到達すると予測される場合。 (3) 外部水源総注水量が1700m <sup>3</sup> 以下。 (4) 緊急時対策本部長がベント操作を許可した時。			
1	外部水源総注水量が1700m <sup>3</sup> 以下であることを確認する。 S/Cベントラインが水没している場合は2-3-2項D/Wベント操作を実施する。	S/Cベントライン 冠水レベル計 (LI-1635)で 430cm以下		
2	S/Cベント準備のためSGTSを2台とも停止する。 (1) SGTSファン(HVE-4C/D) COS「OFF」位置	ⓐ点灯, ⓑ消灯	934	
3	S/Cベントラインのラインナップを確認する。 全閉でない弁は全閉とする。 (1) INBD DRYWELL VENT VALVE (AO-1601-1) 全閉 (2) INBD DRYWELL VENT VALVE (AO-1601-83) 全閉 (3) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-1601-72) 全閉 (4) INBD SUPPR CHMBR VENT BYPASS VALVE (AO-1601-90) 全閉 (5) OUTBOARD VENT TO STACK VALVE (AO-1601-2) 全閉 (6) OUTBD EMGR STBY GAS TRT VENT VALVE (AO-1601-73) 全閉 (7) PCV ベント弁 (AO-1601-210) 全閉 (8) SGTS トレイン出口弁 (AO-BF-7) 全閉 (9) SGTS トレイン出口弁 (AO-BF-9) 全閉	ⓐ点灯 # # # # # # # #	903 # # # # # AM. PNL 934 #	
4	原子炉モードSW「SHUT DOWN」位置を確認する。		905	
5	S/Cベント弁開操作のため、AC系隔離信号を除外する。 (1) VENT ISOL SIGNAL BYP キースイッチ 「TORUS」位置 ・AO-1601-72 開許可 (2) 「外側隔離信号オーバーライド」COS「オーバーライド」 位置 ・MO-1601-210 開許可	警報発生確認 「TORUS or DRYWELL ISOL VALVE AUTO CLOSE BYPASS」 警報発生確認 (999) 「外側隔離信号 除外」 警報発生確認 「AM PANEL TROUBLE」	903 AM. PNL 905	

操 作 順 序	操 作 内 容	確 認 事 項	操 作 場 所	確 認
6	S/C ベントラインのラインナップを行う。 (1) S/C ベント弁用空気ポンベ出口弁 (MO-1601-213) 全開 (2) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-1601-72) 全開	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 "	AM. PNL 903	
7	S/C ベントを開始する。 (1) PCV ベント弁 (MO-210) 25%調整開 a. 弁開度確認不可の場合は、インチング操作で5秒間開とする。(フルストローク 20 秒) (ラプチャーディスク破裂圧力: 448kPa) b. 格納容器圧力が急激に下降したら、負圧にならないように PCV ベント弁 (MO-1601-210) を全閉する。	Ⓡ点灯, Ⓞ点灯 現場弁開度計 D/W 圧力計 PI-1638 S/C 圧力計 PI-1636	AM. PNL " "	
8	格納容器圧力が上昇する場合は、PCV ベント弁 (MO-1601-210) を増開する。 格納容器圧力が 13.7kPa 以下になる場合は S/C ベントを停止する。  (1) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-1601-72) 全閉 (2) S/C ベント弁用空気ポンベ出口弁 (MO-1601-213) 全閉 (3) PCV ベント弁 (MO-1601-210) 全閉 尚、それ以前に緊急時対策本部の判断により全閉とすることがある。	Ⓡ点灯, Ⓞ消灯 DRYWELL PRESS/ DRYWELL SUPPR DIFF PRESSURE 記録計 DP/PR-1602-20 Ⓡ消灯, Ⓞ点灯 " "	" 903 " AM. PNL "	
9	ベント操作中に SHC/CCS 系が復旧した場合は、格納容器圧力が抑制できる段階で、S/C ベントを停止する。 *停止操作は操作順序 8 と同様。			
10	ベント操作後は、格納容器内の水素酸素濃度の監視を頻繁に行う。格納容器水素濃度が 10% に到達した場合は、PCV 圧力が 106kPa 以下 (FCS 運転時の制限圧力) であることを確認して、FCS を起動する。 FCS を起動後は、EOP「格納容器制御」(PCV 水素濃度制御) に従い、水素濃度を制御する。	CAMS 水素濃度 10% 以上かつ 酸素濃度 4.5% 以上	CAMS PNL FCS PNL	
11	本操作中、S/C 水位が S/C ベントノズル水没水位 430 cm (LI-1635) まで上昇した場合は、S/C ベントを中止して、2-3-2 項 D/W ベント操作に移行する。 (1) INBD SUPPR CHMBR VENT VALVE (AO-1601-72) 全閉 (2) S/C ベント弁用空気ポンベ出口弁 (MO-1601-213) 全閉 (3) PCV ベント弁 (MO-1601-210) 全閉	Ⓡ消灯, Ⓞ点灯 " "	904 AM. PNL "	